

1 収入 ①稼働率 (%)

	R1年度	R2年度	前年差	R3年度 (見込)	前年差	R4年度 (計画)	前年差
特養	99.2	98.8	-0.4	98.8	0.0	99.0	0.2
短期入所	89.5	91.0	1.5	91.0	0.0	90.0	-1.0
小規模多機能	91.1	90.8	-0.3	91.2	0.4	96.6	5.4

③介護予防支援計画 (件)

	R1年度	R2年度	前年差	R3年度 (見込)	前年差	R4年度 (計画)	前年差
包括支援センター	3,895	3,920	25	4,052	132	4,080	28

(現状と対策)

【施設介護】 重度者(要介護度4以上)の比率が8割を超え、入院リスク及び介護業務の増加。今年度実績：看取り17名、入院しそのまま退居4名。介護、看護の連携強化。コロナ予防対策を含め嘱託医との連携を強化し、事故防止に努める。

【短期入所】 短期利用に関するコロナ対策を継続し、長期利用者の率を上げていく。コロナ感染対策に注意し、スムーズな入退所を行い、稼働率90%以上を確保。

2 支出 ①人件費率

	R1年度	R2年度	前年差	R3年度 (見込)	前年差	R4年度 (計画)	前年差
事業活動収入	324,794	326,878	2,084	340,896	14,018	345,654	4,758
人件費	215,429	217,562	2,133	232,024	14,462	232,852	828
人件費率	67.2%	66.6%	-0.6%	68.1%	1.5%	67.4%	-0.7%

(現状と対策)

・育休明け職員が増え、夜勤ができる職員が減るなどし、効率低下が見られる。新卒及び専門職の人材確保に取組み効率化を行う(産休予定職員：2名予定)

3 人材の採用、定着、育成

- ・新卒者の確保に努める(今年度実績：0人)。次世代を見越し高卒者の獲得を目指す。
- ・離職者を避けるため、職員のメンタルヘルスや職員のライフスタイルの変化に応じた働き方の要望を面談等で吸い上げ、長く続けられる職場の環境整備に努める。特にコロナ対策に対するケアに努める。
- ・コロナ感染症対策のため職員研修・勉強会が書面による回覧など不十分な期間が続いている。介護の質やコンプライアンス意識の高い職員、組織を育成していく為に、オンライン勉強会を利用していく。

4 利用者サービスの質の向上

- ・ユニットケア(個別ケア)の質を高め、入居希望、入職希望者が集まる事業所を目指す。
- ・事業所内の自己評価のみならず、運営推進会議など第三者によるサービス評価を実施する。
- ・地域の社会資源として情報発信をし、地域の高齢者からも頼られる事業所を目指すため行政、他施設及び医療機関と連携し地域の高齢者の生活を支援していく。
- ・防犯・防災対策に力を入れ、職員研修を実施し、利用者及び職員が安心安全に生活できるよう配慮する

5 地域における公益的な取組

- ・地域の認知症高齢者支援の一環として、地元公民館や近隣住民の方々との「認知症高齢者一人歩き見守り模擬訓練」を実施し、高齢者の安心安全な生活に取り組んでいく。
- ・認知症高齢者対応に関し、地域行事や公民館などと、連携を図りコロナ禍での工夫を行っていく。

6 年間行事

4月・5月	6月・7月	8月・9月	10月・11月	12月・1月	2月・3月	会議・委員会	その他
お花見(ドライブのみで対応)	七夕会(個別開催)	納涼祭・敬老会	寿司パーティ	クリスマス・餅つき	節分・ひな祭り	入所判定会議・経営会議・運営推進会議 各種委員会・施設内勉強会(毎月)	消防設備点検・避難訓練(2/年)・防犯訓練(1/年) 職員健康診断(2/年)・インフルエンザ予防接種
誕生会							

今年度は外出行事の中止や食事イベントの対応が多くなったが、コロナ感染対策をしながら外出を再開し高齢者の健康維持に努める。納涼祭・クリスマス・餅つきなどは、最小単位で個別に開催した。ホールでの家族含めた多数での開催は出来なかった。

7 理事会への報告事項(理事長専決事項は全て記入)

外壁工事(8～12月) 14,850千円

②要介護度

	R1年度	R2年度	前年差	R3年度 (見込)	前年差	R4年度 (計画)	前年差
特養	4.1	4.1	0.0	4.2	0.1	4.2	0.0
短期入所	2.9	3.0	0.1	2.7	-0.3	2.8	0.1
小規模多機能	2.3	2.2	-0.1	2.6	0.4	2.5	-0.1

【小規模多機能】 登録者29名を確保する。(令和3年度平均26.5名)

【包括支援センター】 「介護予防支援計画」及び「総合事業計画」を月平均330件行い、内250件以上を自センターで作成することを目標とする。また、重点業務委託(実態把握、介護予防教室開催、地域ケア会議開催、地域向け認知症関連業務等)を計画どおり実施していく。

【全体】 令和3年度の介護報酬改定は非常に複雑で、業務が増えている。

②その他経費(単位：千円)

	R1年度	R2年度	前年差	R3年度 (見込)	前年差	R4年度 (計画)	前年差
水道光熱費	9,735	9,465	-270	10,107	642	10,043	-64
修繕費	1,438	1,502	64	17,024	15,522	1,552	-15,472
介護用品費	1,280	1,270	-10	1,350	80	1,282	-68
保健衛生費	594	1,207	613	984	-223	999	15
研修研究費	586	271	-315	357	86	356	-1

(主な投資)

- ・福井市介護保険事業に予定されているグループホームの公募に参加する。
- ・介護ロボット20台の購入(リース予定) 2,200千円 (20台の購入で、全室に設置する事になる)

(その他)

- ・設立10年を超え、水回り・備品の修繕は増加。介護用品は重度者が増えるため見直しを行う。
- ・マスクなど感染対策用品は価格が落ち着きつつあるが、継続して抗原検査キット・PCR検査キットで、施設内感染を未然に防ぐ。

- ・キャリアパスに基づき、職員一人ひとりに必要な知識・技術が習得できるよう施設内のみならず、外部団体の研修の機会も提供し、社会福祉の専門職としての倫理・資質向上を図る。
- ・職員の意欲向上を目的に人事考課制度を効果的に活用し、施設サービスの質の向上に繋がるよう職員の一人ひとりの成長に必要な指導を行い、次期役職者を育成していく。また、キャリア段位制度を活用していく。

- ・ユニットケア(個別ケア)推進のため、外部研修や目的別研修に職員を参加させ、個人的なキャリアアップを含め、より良いサービス提供を目指すための職員教育を充実させる。
- ・職員、入居者の3回目コロナワクチンは終了しましたが、小さい子供を家族に持つ職員が多いため、新型コロナウイルスを施設内に持ち込まないようにするため、また職員の労働力確保のためにも抗原検査キットを確保するなど、”施設サービスの継続”に対策を行い、福祉・介護の停止を防ぐ。